

新年度の予算は 初めて十億円を突破

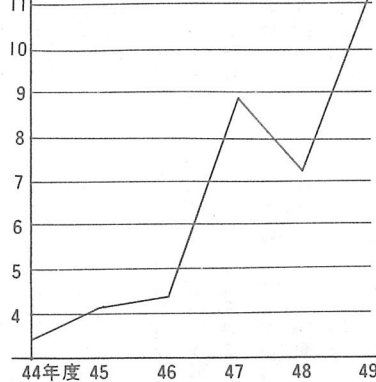
昭和四十九年度予算は三月の定例議会において議決され、執行に移されておりますが、その概要についてお知らせします。(新年度予算の大綱と主な事業については四月一日発行の広報二一五号を参照してください)

一般会計は 前年を四億上回る

昭和四十九年度の一般会計予算は、初めて十億円を突破し十一億四、五二〇万円(第一図)になり前年度より四億二、七二〇万円(六一・八%)の伸びを示しております。また、過去五年間の予算規模の推移は第二図のとおりです。歳入面では、町税が二億一、〇七、七四四千円(一八・四%)で、町民一人当りの税負担額は、一万六、四五六円となっております。地方交付税が二億九、四五〇万円(二五・七%)で町税を八、三七二万六千円(七・三%)上まわっており、その他に、国・県支出金が二億九、六二八万六千円(二五・九%)、町債が一億九、〇三〇万円(一六・六%)、繰入金、諸収入等から七、三二二万一千円(六・四%)となっております。

このように、町の財政は町民の皆さんが直接又は、間接に納める税金と国県からの交付金や補助金借入金などで運営されています。歳出面の主な事業については、既に町長の予算編成方針で述べたように、福祉の増進、教育の振興産業の開発を施政の根本方針として、町道の整備、空港騒音関連事業である横芝小学校の校舎増築体育館の改築、大給保育所改築、上堺地区に共同利用施設の建設などが予算計上されています。

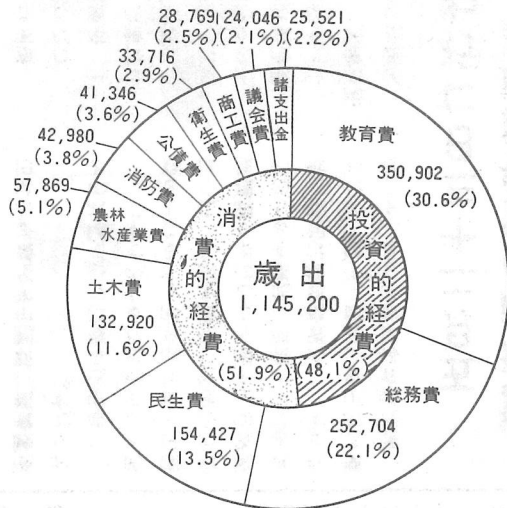
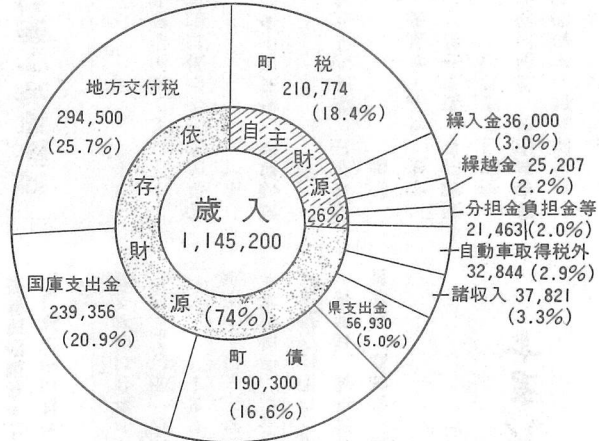
第2図 49年度一般会計予算規模の推移



国民健康保険特別会計予算は、総額で二億六九九万五千円で歳入

国民健康保険 特別会計

第1図 (単位千円)



面では、国保税が八、二六一万九千円で三九・九%、一世帯当りの年間税負担額は、三万五、八二二円となり、この他に国庫支出金が一億八七〇万円と五二・五%を占めております。前年当初より六、一八二万五千円で四二・六%と大巾に増加しております。この主な要因は今年二月の医療費引上げ(二七・五%)によるものです。

有線放送電話 特別会計

有線放送電話特別会計予算は、二、二九二万八千円が計上され前年度より一四・七%増加しています。これは、人件費などのアップ

国民保養センター 特別会計

国民保養センター特別会計予算は七〇一萬四千円が計上されています。

自主財源Ⅱ町税、使用料、手数料などで町みずから徴収した財源をいいます。

依存財源Ⅰ国、県等から交付される財源をいい、地方交付税、国庫支出金、県支出金等をいいます。

投資的経費Ⅰ道路、学校などの普通建設事業、災害復旧事業などに投資する経費

消費的経費Ⅰ人件費、物件費、建物等の維持補修費等で毎年きまって支出される経費